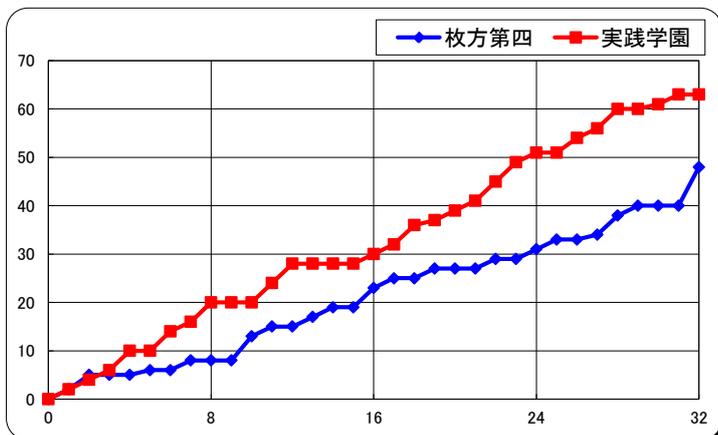




THE 44th ALL ALL JAPAN  
Jr HIGH SCHOOL

大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会												
会場	高松市総合体育館												
日時	平成26年8月24日(日) 14:20												
コート	TBコート 第5試合												
カテゴリ	男 男子決勝トーナメント2回戦												
主審	田中 充 (北海道)												
副審	安藤 剛 (大分)												
Team A			Team B										
枚方第四	48	<table border="1"> <tr><td>8 1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>15 2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>8 3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>17 4th</td><td>12</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	8 1st	20	15 2nd	10	8 3rd	21	17 4th	12	OT		63 実践学園
8 1st	20												
15 2nd	10												
8 3rd	21												
17 4th	12												
OT													
大阪 ●			東京 ○										

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		枚方第四						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	長澤 一真	×	2	0	1	0	2	
5	小笠原公一朗	×	6	0	3	0	0	
6	村野 克海	×	5	0	2	1	2	
7	小西 聖也	×	29	1	10	6	1	
8	谷内 亮介	×	2	0	1	0	1	
9	家喜 寛太	DNP	0	0	0	0	0	
10	粟野 智皓	/	4	0	2	0	0	
11	岩元 淳尚	DNP	0	0	0	0	0	
12	藤井壮一郎	DNP	0	0	0	0	0	
13	末房 太一	DNP	0	0	0	0	0	
14	小埜 耀永	DNP	0	0	0	0	0	
15	江尻 尚生	DNP	0	0	0	0	0	
16	藤井 一稀	DNP	0	0	0	0	0	
17	坂本 光平	DNP	0	0	0	0	0	
18	初根 崇斗	DNP	0	0	0	0	0	
監督	仙波 昇二						0	
コーチ	山田 有時						0	
合計			48	1	19	7	6	

Team B		実践学園						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	深澤 英吾	×	13	1	4	2	2	
5	町井 丈太	×	14	0	7	0	1	
6	高草 一馬	/	0	0	0	0	1	
7	多田 竜之介	×	10	0	5	0	3	
8	鈴木 雄大	/	0	0	0	0	0	
9	阿保 柊二	×	6	0	3	0	0	
10	島田 英瑠	/	0	0	0	0	0	
11	江川 航希	/	0	0	0	0	1	
12	矢口 拓歩	/	0	0	0	0	1	
13	石川 悟	/	0	0	0	0	0	
14	土屋 成海	/	0	0	0	0	1	
15	磯部 真希	/	0	0	0	0	0	
16	樋口 将馬	/	0	0	0	0	0	
17	若月 遼	/	0	0	0	0	2	
18	小玉 大智	×	20	0	9	2	3	
監督	森 圭司						0	
コーチ	小林 真澄						0	
合計			63	1	28	4	15	

【戦評】

決勝トーナメント2回戦、近畿ブロック代表枚方第四と関東ブロック代表実践学園の一戦。枚方第四はマンツーマンDef、実践学園はゾーンDefでスタート。序盤、外角シュートの応酬で互角の展開。中盤、実践学園は#18のゴール下、#4のミドルシュートなどで着実に得点を重ねるのに対し、枚方第四は実践学園の堅い守りにインサイドの動きが制限され得点が止まる。1Qは実践学園20-8枚方第四で終了。2Q、序盤は膠着状態が続く中、枚方第四#7のゴール下、#6のミドルシュートが立て続けに決まり追い上げる。実践学園も激しいDefから#9の速攻などで応戦するが、枚方第四は終盤にも#7の連続得点で追い上げを見せ、前半は実践学園30-23枚方第四で折り返す。

3Q、枚方第四は#7のドライブインで先制するも、その後外角シュートが決まらない。一方の実践学園はDefリバウンドを確実に奪いゲームをコントロール。#5、#7の外角シュート、#18のポストプレーなどOffがテンポよく決まり、実践学園51-31枚方第四とリードを広げる。4Qは互いに点を取り合い一進一退の攻防となる。枚方第四は激しいDefで実践学園のミスを誘い、#7の連続得点を奪うなど終盤まで追い上げを見せるも、実践学園63-48枚方第四と実践学園がリードを守り切り、2年連続で準決勝進出を果たした。

【戦評記入者】

三本康一郎